

Makoto Nomura Old People's Home Remix #2, documentary opera "DANGO for the REVIVAL"

野村誠の

老人ホーム・REMIX #2

リミックス

ドキュメンタリー・オペラ

“復興ダンゴ”

Piano: 野村 誠 Makoto Nomura

Dance: 砂連尾理 Osamu Jureo

Video: 上田謙太郎 Kentaroh Ueda

Photo: 杉本文 Aya Sugimoto

Coordinate: 吉野さつき Satsuki Yoshino

音楽、映像、ダンス、写真で構成する新しい舞台。

戦後の復興を語る老人の身体から、

現代的な問題を炙り出す意欲作。



2012

2 / 18・19

〈Sat〉

〈Sun〉

老人ホーム REMIX #2

主催: さくら苑プロジェクト実行委員会 提携: STスポット

助成: ACY 横浜における創造的活動助成 先駆的芸術文化活動部門

協力: 特別養護老人ホームさくら苑 NPO法人エイブル・アート・ジャパン アートミーツケア学会

ピアノ協力: 京遊ピアノ調律 (株) ピアノプラザ

STスポット

横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビルB1 tel.045-325-0411

ACY

TPAM

国際舞台芸術マーケティング(TPAM) in 横浜 2012
TPAM ショーケース参加作品

Photo: Aya Sugimoto design: Yusaku Kamekura

野村誠の老人ホーム・REMI×#2

ドキュメンタリー・オペラ

“復興ダンゴ”

Piano: 野村 誠 Makoto Nomura

Dance: 砂連尾理 Osamu Jareo

Video: 上田謙太郎 Kentaroh Ueda

Photo: 杉本文 Aya Sugimoto

Coordinate: 吉野さつき Satsuki Yoshino

調律: 上野泰永 照明: 伊藤泰行 協力: 野村公美子 菊池由紀子 大澤貴雄



【老人ホームREMI×#1】より(SakuraEto/Studio 0109, 2011.2)

2012 / 2 / 18・19
(Sat) (Sun)
19:00 14:00 | 18:00
*開場は開演の30分前

◎各回終演後にトークがあります。

18日 19:00 野村 誠、砂連尾理、吉野さつき

19日 14:00 野村 誠×木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎)

18:00 野村 誠、上田謙太郎、杉本文

料金/Ticket

前売 一般 ¥2,500 学生 ¥2,000

当日 一般・学生とも ¥3,000

予約/Booking

web <http://stspot.jp/ticket/remix2012/>

tel 045-325-0411 (STスポット)

プロジェクトブログ <http://sakuraen.blogspot.com/>

お問い合わせ sakuraen314@yahoo.co.jp



STスポット

ST Spot
*横浜駅西口より徒歩8分

横浜市西区北幸1-11-15
横浜STビルB1
tel.045-325-0411

主催:さくら苑プロジェクト実行委員会 提携:STスポット

助成:ACY 横浜における創造的活動助成 先駆的芸術文化活動部門

協力:特別養護老人ホームさくら苑 NPO法人エイブル・アート・ジャパン

アートミーティング学会 ピアノ協力:京浜ピアノ調律(株)ピアノプラザ

ACT 国際舞台芸術ミーティング(TPAM)in 横浜 2012
TPAMショーケース参加作品

東日本大震災は津波と原発事故を引き起こし、放射能が日本中を汚染した。現在も被曝の渦中にあるぼくらは、新たな生き方の模索を強いられている。一人のアーティストとして、この状況に何か貢献できるだろうか? ぼくは悩んだ末に、戦争を経験したお年寄りの言葉を題材に舞台を作ろうと決心した。戦後の復興の中に、何かぼくらにとって参考になるヒントがあると直感したからだ。早速、お年寄りたちとのワークショップを開始し、彼らの言葉、声、音楽、身体の表情など、様々な形でメッセージを受け止めた。そこには、数々の驚きがあり、希望とヒントがあった。それらを映像、写真、ダンスとしてドキュメントし、舞台作品「ドキュメンタリー・オペラ」として再構成(=REMI×)した。それは、映像、写真、ダンスを伴うコンサートのようにも、生演奏とダンスを伴うドキュメンタリー映画のようにも見えるだろう。

野村 誠

I am a composer and pianist. On 11th March 2011 there was a terrible earthquake which caused tsunami and the disaster of Fukushima Nuclear Power Plants. The radioactivity has contaminated all over Japan and the Pacific Ocean. Since then I have been wondering how I, as an artist, could contribute to solving these terrible situations and made my decision that I would have to create a documentary opera in collaboration with old people who had experienced the Pacific War. Because I thought that the clue to revive from this disaster seemed to lie in how they had revived from the war. Then I started creative music workshops with them and a video artist, a photographer, and a choreographer documented their voices, physical and musical expressions. Finally we created a multimedia work which is composed from music, video, dance, and photos. It will be like a concert with video, photos and dance accompaniment, but also like a documentary film show accompanied by live music and dance performance. (Makoto Nomura)

プロフィール

野村 誠 Makoto Nomura …………… 作曲家 ピアニスト / Composer, Pianist

「プールの音楽会」(あいちリエンサーレ2010)、白井剛との「Physical Pianist」、振付が作曲に
なっているガムラン作品「ベロベロ」など身体性の高い音楽を発表。山下真(動物の演劇)、
遠田誠+高田賢子江子「福岡市美術館REMI×」などの音楽を作曲。日英共同の「ホエール
トーン・オペラ」、アジアの即興「picnic」、鍵盤ハーモニカ・オーケストラなどに取り組む。第1回
アサヒビル芸術賞受賞。「老人ホームに音楽がひびく」(芸文社)ほか著書。CDが多数ある。
新プロジェクトは「原発やめます」。



砂連尾理 Osamu Jareo …………… 振付家 ダンサー / Choreographer, Dancer

1991年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を展開し、舞台作品だけでなく
障がいを持つ人や老人との作品制作やワークショップを手がける等、ジャンルの越境、文脈を
横断する活動を行っている。近年の作品に、Theater Thikwaとの日独共同制作「Thikwa-
循環プロジェクト」(ピラミッド・中島嘉郎子)、舞鶴のお年寄り連との「とつとつダンス」、尾尾優、
Hyslomとの跨り的な活動「The pursuit of new possibility」等がある。神戸女学院大学非常勤
講師。



上田謙太郎 Kentaroh Ueda …………… 映像作家 / Video artist

1984年、神戸生まれ。2008年よりアート・ワークショップの映像記録、ビデオ教材、演劇、音楽コンサート、プロモーションビデオ
など、様々なフィールドで映像制作を行う。2010年より東京藝術大学大学院にて創映画の編集を学ぶ。現在、長編ドキュメン
タリー映画を制作中。

杉本文 Aya Sugimoto …………… 写真家 / Photographer

大学卒業後、出版社勤務を経て活動を開始。雑誌、書籍、個展等で写真や文章を発表する他、音楽家、美術家との共同作
業にも携わる。近年はジプシー(ロマ)の人々の魅力を探り家紋を取材撮影、写真展、トークイベントを展開。著書にクレオールの
島国を取材したフォトエッセイ「セイシユール-光と風が遊ぶ島」(京楽舎発行)。

吉野さつき Satsuki Yoshino …………… ワークショップ・コーディネーター / Workshop coordinator

シティ大学大学院(英国)修了、公共ホール勤務、ロンドンでの研修(文化庁派遣)を経て、教育、ビジネス、医療福祉関連など
幅広い領域でアーティストによるワークショップをコーディネート。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム講師、
エイブル・アート・ジャパン プログラム・コーディネーター。